

2017年(平成29年)6月10日 土曜日 地域総合

南さつまの子、飛び立て

高校生を応援しようと、本坊輝雄市長(右)を訪ねた東直巳支店長(中央)と上舞一三技術部長



ふるさと納税で高校応援

南さつま市は2017年度から、企業版ふるさと納税を学校振興に役立てる「南さつま飛びたて高校生事業」に取り組んでいる。少子化に加え市外進学率が高まる中で、市内3高校が活性化に向けて教育環境の充実、スポーツや文化的活動など事業を提案すると、市が企業の寄付を生かし、助成する制度だ。

3校は加世田、加世田常潤、鳳凰。学校、学科によつては定員割れが続ぎ、最近の定員充足率は計約85%、さらに生徒の減少が懸念される。市内就職内定は1月現在24人。魅力ある高校になることで中学生が地元に進学、将来的には市内で働く人を増やす狙いもある。

企業版活用、市が事業助成

最大100万円を補助する。企業側は寄付すると、現行と比べ約2倍の税負担の軽減効果が見込まれる。同市にはすでに、建設関連業のマルタニ試工(福岡市)が寄付100万円を申し入れ、鹿児島支店の東直巳支店長(57)と上舞一三技術部長(80)が1日、本坊輝雄市長を表敬訪問した。



協定書を手倉孝浩阿久根市長(左)と丸郵便局長(右)と阿久根市副市長(中央)が協定書に署名している。

絵の佳句で3号展

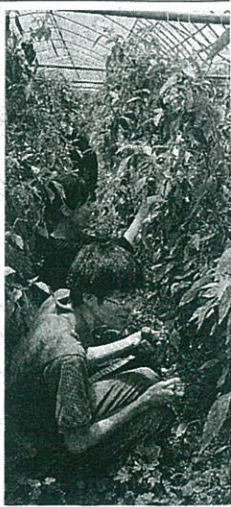
NPO法人そお文化村は、一般公募の第1回「絵の街お3号展」を8月6日、20日、曾於市末吉総合センターで開く。3号サイズの平面作品ならジャンルを問わず出品できる。

8月 NPO初開催、作品募集

法は273ミ、2200ミ。応募資格は鹿児島県宮崎県在住か、その関係者。テーマは自由部門と風景、祭りなど曾於市に関連するものの2部門。一科会会員の米田安希さんが審査する。1人3点以内。出品料は1点につき千円。作品搬入は7月22、23日。最高賞金は3万円。

国の新人官僚

志布志で研修。ピーマン収穫学ぶ。今春採用された国家公務員3人が5月29日、6月2日、志布志市で地方自治の現場に触れる研修をした。写真。ピーマン収穫の体験を通して市の農業政策を学んだほか、ごみのリサイクルやふるさ



母の日ギフト

○さつま永くずえさ。えさばを切年、元気あだ。笑顔を結今年の母の口つと曇った。

○毎年、レゼンを穿女の久美何の言沙汰

新登場! スカッと爽快。ジワッと味わい

